

CISA の難易度

完全解説

合格率の裏に隠れた本当の壁

450 点ライン・実務 5 年要件・ISACA 思考を解説



合格率 50% なら余裕でしょ？

数字に騙されるな。





セキュリティプロ・フリーランス

✓ 登録・利用 完全無料



最高月収150万円

月額80万円以上の案件が

80%以上を占める高単価



リモート率80%以上

フルリモート対応可能案件多数

自由な働き方を実現



専門特化サポート

セキュリティ領域に精通した

専任エージェントが伴走



フリーランス案件マッチング

- ✓ 高単価案件から長期安定稼働の案件まで多数保有
- ✓ 脆弱性診断、SOC構築、ゼロトラスト導入など幅広い専門案件
- ✓ 面倒な営業活動・単価交渉・契約手続きは全て代行



キャリアサポート

- ✓ 業界に精通したエージェントがあなたの市場価値を最大化
- ✓ 独立支援（会社員から個人事業主、法人設立までサポート）
- ✓ 定期的な技術情報共有会、起業支援パックの提供



支払サイト

月末締め翌月払い (30日サイト)



案件参画スピード

2週間～1カ月程度

詳細を見る →

● 難易度の結論 | 数字の実像



合格ライン 450 点

スケールドスコア 450 点。全バージョン共通の基準だ。



合格率・勉強時間

推定 45 ~ 60% (非公表)。実務者 200h ・ 初学者 300h 。



難易度の核心

数字より実態は難しい。試験合格と資格認定は別物だ。

● 難易度を見誤る 3つの落とし穴



合格率は推定値

公式非公表。各社の目安が一人歩きしやすい。



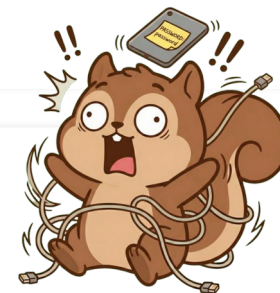
試験合格 ≠ 資格取得

実務経験 5 年という第二の壁が待っている。



母集団が高レベル

実務経験者中心。その中での合格率だと割り引いて見る。



数字の裏に隠れた実態を見ないと、難易度を見誤る。



● 5 ドメインの出題構成と試験形式



最重要ドメイン

ドメイン 5(27%) ・ 4(23%) ・ 1(21%) で出題の山。



試験形式

150 問 4 択 ・ 制限 4 時間。 CBT 方式で随時受験可。



学習の鉄則

ドメイン 4 と 5 で出題の半分。ここへの配分が鉄則だ。

● 受験料・認定要件・CPE 維持コスト



受験料（会員）

ISACA 会員 575 ドル + 申請 50 ドル。非会員 760 ドル。



認定・維持要件

実務経験最大 5 年。3 年 120 単位の CPE 更新が必須。



投資の本質

受験料 + 維持費用まで含めたコストで投資判断しろ。

● CISA が難しい 4 つの壁

1

ISACA 思考の壁

暗記ではなく「監査人として最適な判断」を問われる。

2

英語訳のクセ

翻訳設問の硬い言い回しが理解を妨げ、時間を奪う。

3

実務経験 5 年

試験合格後に認定のための第二関門が待っている。

4

広範な出題範囲

開発・運用・ガバナンスを横断し、監査視点への転換が必要。

4 つ全部、対策法がある。



● ISACA-ism という思考の壁



ISACA-ism とは

技術的正解より「監査人としてベスト」を選ぶ思考様式。



突破法

解説の思考プロセスを理解し、監査人視点で選ぶ訓練を積む。



壁の核心

知識より先に、考え方をインストールする意識が必要だ。

● 他資格との難易度比較

情報処理安全確保支援士

技術深掘り型・国家資格

- ・ 合格率約 20% 前後
- ・ 技術の深さでふるいにかける
- ・ 一発試験型・認定要件なし

VS

CISA

監査保証型・国際資格

- ・ 推定合格率 45 ~ 60%
- ・ 思考様式と認定要件で負荷
- ・ 試験合格後に実務経験の壁



選択の軸

技術を深掘りするか、評価・保証を担うか。方向性で選べ。

● セキュリティ × 監査の希少価値



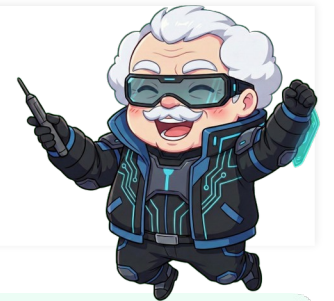
希少性の構造

診断・運用の担い手は多い。監査・保証まで語れる層は限られる。



フリーランス単価

GRC・IT 統制評価案件で希少性が単価に直結する。



価値の核心

難しさは市場価値の裏返しだ。高い壁の先にこそ報酬がある。

● 実務経験別 学習ロードマップ



実務経験者

3～4 か月・1日1～2時間。ドメイン4・5・1を厚く配分。



初学者

6～12 か月。基礎固め後、後半は問題演習に比重を移す。



学習の核心

ISACA-ism 思考に慣れる時間こそが合格の鍵だ。

● CISA が向く人・向かない人

向いている人

監査・GRC・コンサル志向

- ・ 評価・保証する立場でキャリアを築く人
- ・ フリーランスで高単価案件を狙う人
- ・ 監査とセキュリティを両方語る人材

VS

向かない人

技術特化・実装志向

- ・ 純粋な技術深掘りで勝負したい人
- ・ 実装・運用に専念したい人
- ・ 手を動かす現場スペシャリスト



判断の軸

守る担い手か、評価する担い手か。キャリアから逆算しろ。

● まとめ



合格ライン 450 点・推定 45 ～ 60% だが試験合格と資格認定は別物



ISACA-ism の思考と実務経験 5 年が最大の壁。暗記では通らない



監査 × セキュリティの希少性が高単価につながる。難しさは価値の裏返し

NEXT ACTION

まずは市場価値の無料相談・登録

[セキュリティプロ・フリーランス >](#)

